

第6回水・緑と観光を繋ぐ回廊計画推進協議会 会議録

1 日 時 平成30年3月27日（火曜日）
午後3時00分から午後4時20分まで

2 場 所 委員会室

3 出席者 別紙のとおり

4 内 容

- (1) 平成29年度における事業の取組状況について
- (2) 平成30年度における事業の予算措置状況について
- (3) 水・緑と観光を繋ぐ回廊計画の今後の展開について

5 配布資料

資料1 みずほきらめき回廊 平成29年度の取組み

資料1別紙 平成29年度広報・PR活動の報告

資料2 水・緑と観光を繋ぐ回廊計画 平成30年度における予算措置状況について

資料3 水・緑と観光を繋ぐ回廊計画の進捗状況と変更点についての報告書

6 会議内容

- (1) 平成29年度における事業の取組状況について

各検討部会長より平成29年度活動報告及び事務局から資料1、資料1別紙を使用して説明があった。

(質疑・意見)

(田中都市計画審議会会長) 何点か伺いたい。1点目は、案内サインの設置についてデザイン等どのように決定されたのかそのプロセスについて伺いたい。2点目は狭山池上流部のひまわり畑についてだが、道路がまったく整備されていない状況であり、高齢者や車椅子の方が行くには難しいと感じるが、今後どのようにする予定なのか。また、ひまわりの時期が終わり今は草だらけになっている状態なのにのぼり旗だけがある。のぼり旗についてはイベントがない今の時期は撤去した方が良いのではないかと感じる。3点目はホームページでのPRについてだが、今回整備された残堀川沿いのルートや、以前整備されたさやま花多来里の郷前の道路について整備状況を示し、そこからどういった場所に行けるのか等もっとPRすべきと考える。回廊計画というものが漠然としていてインパクトに欠けるので今後どのようにしていくのか伺いたい。

(山内産業課長) 1点目についてお答えする。案内サインについては平成28年度に観光部会で案内サイン先進地である川越市を視察し、デザインの検討を行った。設置

場所については、観光部会で実際に現地を歩き、協議をして決定したものである。

(田中都市計画審議会会長) 町では平成23年3月に景観基本計画を策定している。その中に駅前などはトータルサインの設置についても示されている。今後も案内サインの設置について進められていくと思うが、景観基本計画に沿って関係部署とも協議しながら全町的なプロセスの中で進めていただきたい。

(杉浦町長) 総合的な案内図等も今後必要になるところであるが、都市モノレールの動きもあるため、大きなものについては今後ということになる。今回はルート上のサインということで設置をしたが、これから先各計画との整合をとりながら進めていただきたい。

(山内産業課長) 2点目についてお答えする。ひまわり畑までの道は狭く、砂利道になっており委員が言う通り整備がされていない状況となっている。今後については、農作業の効率を上げるため、道路や水路の整備を行う予定となっている。平成30年度には小規模土地改良事業を目指す基本設計を実施し、道路等の設計を行い全体の絵を描いていく予定となっている。

(田中都市計画審議会会長) 現在の道路は町道なのか私道なのかお伺いしたい。

(山内産業課長) 町道である。

(村山企画課長) のぼり旗について、回廊計画の拠点である狭山池上流部の場所を知っていただくためにイベント後も掲示していたが、委員が言う通り現在は草だらけの場所にのぼり旗だけがある状態となっているため設置時期について検討したい。

3点目のホームページでのPRについてお答えする。ルートが整備されたという情報はホームページでその都度お知らせしているが、委員からお話があったその先に何があるかといった情報や枝ルートについては掲載されていない状況である。本協議会の中で平成30年度の事業についてご報告するところであるが、平成29年度に決定した基本4ルートについて、そのルートと拠点等の紹介をホームページ上で示す準備段階となっている。

また、平成30年度にはルートをわかっているためのパンフレットを作成する予定となっている。ルートを明らかにすることで、そのルートを通して各名所に行けるよう図っていきたいと考えている。

(2) 平成30年度における事業の予算措置状況について

事務局から資料2を使用して説明があった。

(質疑・意見)

(杉浦町長) 皆様のご質問を受ける前にひとつ要望をしておきたい。先ほど委員から

お話があったとおり、案内サインの設置については関係部署と良く連携をとっていただきたい。

(上野農業委員会会長) 狭山池上流部について、道路等の調査設計委託があるが昨年3つのゾーンを区分けした中で、今後狭山池上流部をどういった範囲と形でまとめていくかというのは決まっているのか。町民農園の駐車場の整備等も含めて将来的に繋げていく調査となるのか。

(山内産業課長) 狭山池上流部の整備区域の範囲は資料3の14ページに生産ゾーン、交流ゾーン、景観ゾーンとして示している約4.5haとなっている。この範囲において道路の整備や水路の整備、町民農園の駐車場の整備、だれでもトイレの設置を目指す小規模土地改良事業の調査設計をおこなうものである。

(上野農業委員会会長) 狭山池上流部の当初の計画では将来的に莫大な予算が出るものであった。今回の整備計画だと道路の改修等だけで集客力があるわけでもなく積極的に人を呼ぶような計画としては寂しいと感じる。ひまわり畑は時期が限られており、交通の面でも不便である。通年で楽しめるような計画を検討いただきたい。

(山内産業課長) 今年度ひまわり畑ができたところは長年耕作がされておらず、種を蒔いても実際に芽が出るか心配をしたところであった。今後は夏はひまわり、秋はコスモスといったように四季折々の花が楽しめるような場所となるよう進めていきたい。

(上野農業委員会会長) 町民農園の現状を活かしていくのであれば、農機具をおくスペースや農作業で汚れた身なりを整えるような施設の建設。また、農業を教えてくれる人との交流の場や、週末滞在型の農園にする等もっと発展型の整備をしてはいかかか。

(山内産業課長) 町民農園については、駐車場が砂利でありトイレも簡易トイレとなっているため、町民農園の利用者が利用しやすいような施設の整備等も含めて基本設計の中で考えているところである。また、交流ゾーンでは園主がいて手ぶらで農業が体験できるようになるよう園主の掘り起し等にも取り組んでいきたいと考えている。

(高水観光部会長) 狭山池上流部の整備では、将来的に狭山池、残堀川をきれいな水辺として残すことも含めて考えなければならない。狭山池上流部から如何にして狭山池にきれいな水を流れるような環境をつくるかが大切だと考える。

(杉浦町長) この意見についてはすでに議会でも同じようなご意見をいただいているところである。水の流れを確保するためにはどうしても水が必要となるが、狭山池の周りには東京都が管理する井戸があり、そこから水を汲み上げるのが地盤沈下をおこさないために制限が掛かっている。地下水のルートについても調べたことがあるが、昔と水脈が変わってしまい頭を悩ませているところである。

(山内産業課長) 狭山池上流部からの水については、小規模土地改良の基本設計調査

の中で調査したいと考えている。

(田中都市計画審議会会長) 狭山池の先の水脈については非常に興味を持っている。今は草だらけの所で水の量は少なくても親水路として整備をすれば上流部に行く興味が非常に湧いてくると考える。その辺も踏まえて検討していただきたい。また、花畑について今年度はひまわり畑ができたが、事業範囲を拡大する等の予定はあるか。

(杉浦町長) 狭山池上流部の水の確保については行政側でも考えているところである。どんな手段があるのか、科学的な根拠を持ちながら進めなければならないと考えている。

(山内産業課長) ひまわり畑については現在3人の地権者の協力を得て進めているところである。ひまわり畑も含め景観ゾーンとして位置付けている場所の地権者の協力を得ながら今後範囲を広げ、四季折々の花を楽しめるよう進めて行きたいと考えている。

(3) 水・緑と観光を繋ぐ回廊計画の今後の展開について

事務局から資料3を使用して説明があった。

(質疑・意見)

(杉浦町長) 計画期間について触れられたが、計画期間の延長や計画内容についての検討はいつ頃を予定しているのか。

(村山企画課長) 平成32年度で第4次瑞穂町長期総合計画後期基本計画が終了となる。その次の長期総合計画と整合したいと考えているため、次期総合計画と合わせ連携した形で計画の見直しを図りたいと考えている。

(久保田文化財保護審議会会長) 案内サインについて、今後も数を増やしていくとのことであるが、将来的な見方をすると設置したものは必ず古くなるので、点検や速やかな補修をし、材質についても持ちが良いものと考えていただきたい。設置箇所について地方では周辺までは行けるが直近になると案内がなく迷ってしまうということがあるので、設置する側の論理ではなく利用者側が間違いなく辿り着けるよう考えていただきたい。

また、回廊ルートの路面標識の中にQRコードをつけているが、これだけでは分からない方もいるので一言説明を入れるようご検討いただくとともに、路面標識に劣化があればすぐに補修ができる体制づくりをしていただきたい。

(山内産業課長) 案内サインの維持点検については今後注意しながら行っていきたいと考えている。

設置場所については、町を訪れる方の視点に立つよう心掛けていきたいと考えてい

る。

(森田建設課長) 路面標識のQRコードについては、余白にもスペースがあるので分かりやすい案内の仕方等工夫をしたいと考える。また、擦れて読み取れない状況とならないよう維持管理に努めたいと考えている。

(村山企画課長) 案内サインの設置について補足させていただく。今回設置した5箇所についても観光部会で実踏し、危険箇所を避けて決定したものである。観光部会で実踏し、町を訪れる方のことを考えながら30年度以降も整備する予定となっている。

(田中都市計画審議会会長) 回廊計画は先ほどお話しした景観基本計画と類似する部分が多くあると思うが、回廊計画だけで進めるのではなく景観基本計画と良く突き合わせて進めていただきたい。

(上野農業委員会会長) 狭山池上流部について、3つのゾーンが示されているが、ゾーニングされていない遊休農地も多くある。ゾーニング外の狭山池からの道を含めた基盤整備となるのかお伺いしたい。

(山内産業課長) 狭山池から上流部に繋がる道については、今後調査設計の中でどのような動線が良いかなども考えながら進めて行きたいと考えている。

(上野農業委員会会長) 現状は車のすれ違いもできなく、まったく整備がされていない状況であるため、伊奈街道側以外からはお客さんを迎え入れるのは困難であると考え。上流部に至るルートをきちんと整備しないとひまわり畑を整備しても人が来るような拠点とはならない。狭山池のあたりから一帯で道路や水路の整備をしないと無理である。

(山内産業課長) 今回基盤整備の調査設計をするところは約5haであり、その中で道路が狭い所を拡幅して舗装するなど調査の中で考えていくところである。狭山池からの全体としてというところではこの中では現在考えていないところである。

(上野農業委員会会長) あの地域の住民にとっては生活するのにも不便で、水が溜まって仕方がないといった状況も起きている。年次はずれるかもしれないが、畑の部分だけを良くするのではなく、狭山池からのトータルで考えていただくことを要望しておきたい。

回廊計画以外でも農業関係で集客施設が出来始めている。元狭山地区のイチゴの摘み取り農園やゴールデンウィーク明けには酪農家がジェラート工房をオープンする。回廊ルート以外の施設も含めて瑞穂に観光客が滞在して回れるようなシステムも考えていただきたい。

(杉浦町長) 今の意見については全体的な都市計画に掛かってくるものである。議会や都市計画審議会等色々な委員会を通じて意見をあげなければいけないのでご意見として伺っておく。当然回廊計画と都市計画はリンクしなければならないものであり、その他の計画ともリンクさせながらということでご理解いただきたい。

また、今後の展開について新しい動きがあったのでご報告させていただく。東大和市、武蔵村山市、入間市、瑞穂町の三市一町で狭山丘陵をもっと観光ができるように連携を始めている。今後色々な展開がされ近隣の市との連携も強まっていき、将来的に回廊計画ともリンクをさせるということになる。他の市長と共に考えていきたい。

(4) その他

(中沢回廊ルート整備部会長) 昨年、武蔵村山市から声をかけていただき自転車で狭山丘陵をまわった。また、東京都で二次交通サービスと言う電動アシスト車を中心としたサイクルスポットを作って羽村市、福生市、瑞穂町をまわった時には瑞穂町は非常にポテンシャルが高いとの話があり、回廊ルートの眺望のゾーンなどは非常に評判が良かった。交通のアクセスが悪いとの話もあるが、実は車で来るには非常に来やすい場所であり、安全面も他市に比べて優れていると感じた。こういったツアーを組む時のポイントとしてはガイドがいるかいないかが重要となる。ガイドを早い段階で育成するためのプログラムをつくっておくと良いのではないかと考える。

(鳥海教育長) ガイドの育成の話がでたが、教育委員会の図書館事業で瑞穂検定というものを行い瑞穂のことをガイドできる人材の育成のために動いているところである。主には歴史や自然ということになるが、当然回廊計画ともリンクしてルートを歩きながらもガイドができるということを目指しているところである。

(中沢回廊ルート整備部会長) 回廊計画と協働とは非常にマッチングが良いと感じている。それぞれのスポットを町内外の人々が思い入れを持って整備や管理をしていくことで長期的なスパンで関わっていただける方が増え、継続性も出て外にも広がっていくと考える。協働を活かして回廊計画に落とし込めることがないかを考えながら進めて行くのでお力を貸していただきたい。

(杉浦町長) 回廊計画と協働については今後様々な展開がされていくものと考えている。その都度ご意見を伺いながらどういった問題があるのかひとつずつ検証を重ねていきたいと考えている。

午後4時20分終了